



イクサンワン グンニ ユチョク 益山王宮里遺跡

チョルラ フクド、イクサンシ イクサンワン グンニ ユチョク イクサン
全羅北道益山市にある益山王宮里遺跡は、百濟末期の益山において政治、経済、文化の中心地であった王宮であり、百濟の都である泗沘と共に複都とされています。百濟末期に王宮として造成され、その後、王宮の重要な建物を撤去して塔や講堂等を含む寺院が建立された複合遺跡です。写真は冬の日の出に照らされた益山王宮里五層石塔（国宝）です。



世界の地域から 全羅北道（韓国）

イクサン ミロク サ 益山弥勒寺址の雪景色

百濟時代最大のお寺の跡地としてユネスコ世界遺産に登録された百濟歴史地区の中にあり、石塔と幢竿支柱が見どころです。高さ 14.24m の弥勒寺址石塔は、国宝に指定され、現在韓国の中で最古、最大の石塔です。

